

令和7年1月24日

福津市中央公民館館長 徳永理恵 様

福津市公民館運営審議会会長 安徳尊博

福津市中央公民館の機能の再定義・再配置について（答申）

令和6年6月18日に、貴職から諮問された標記の件について、当審議会では4回にわたって検討、審議した結果、下記のとおり答申します。今後も、福津市の行財政事情や市民ニーズ等を総合的に勘案しながら、伸び盛りのまちにふさわしい魅力ある施設として、この答申の内容を考慮していただき、福津市中央公民館を運営していただければ幸いです。

記

1. 審議に際しての情報収集について

事務局には、福津市中央公民館を利用されている一般の利用者やサークルの方に対するアンケートを実施してもらい、当審議会の委員だけの視点だけではなく、212人のアンケート回答者の方々の声にも耳を傾け、意見をまとめました。

また、事務局には、市町村合併をして、複数のホールを所有する状況になった自治体への聞き取りを行ってもらいました。ホール機能を統合した後、大規模改修を行い、全く異なった建物にリニューアルした自治体もあれば、ホールを複数所有していることで、維持管理費がかさみ、福津市と同じような悩みを抱えている自治体やホールの廃止後、建物利用については未定で、閉鎖したまま所有している自治体もありました。それらの事例も参考にして、福津市中央公民館の機能の再定義・再配置について検討しました。

2. ホールの有効活用について

今回の諮問事項である「福津市中央公民館の機能の再定義・再配置について」ですが、審議してきた内容は、令和7年度末で、ホール機能を統合するという予定の中で、「機能の統合後、ホールをどうするのか」というテーマに絞って、審議を進めてきました。

当審議会としては、ホール機能を統合した後、ホールは閉鎖するのではなく、有効活用するのが望ましいということで合意し、意見を出し合いました。

当審議会の提案としては、以下のとおりです。

- ・客席部分はそのまま残し、最低限の照明を残して、舞台部分を楽器の演奏やコーラスなどの練習場とし、リハーサル室と同じように活用することを提案します。

先のアンケートで、回答者全体の7割弱の方々からの意見でもあり、実現可能な有効活用法であると考えます。

- ・上記提案に加え、客席部分の床を可能な限りフラットに改修し、天候の影響を受けることなく使用できる体育施設や地球温暖化に伴い、続発する自然災害時の避難場所などに利用用途を広げ、多目的に使用することも提案します。

3. 終わりに

市全体の公共施設の現状や今後の在り方について俯瞰的に見たうえで、この度、ホールの有効活用について、基本的に新たな投資はしないという条件のもとに検討しました。審議を進めていく中で、アイデアの実現については、可能、不可能というものがあるということも考えながら、様々な意見を出し合い、審議会としての答申を作り上げました。

福津市の財政状況は、他の公共施設の建設などもあって、大変厳しいと聞いておりますが、福津市中央公民館のホール機能が統合され、閉鎖された後の活用については、市民に対して「タイムリーかつ丁寧な説明」を行い、是非とも、今回の答申の内容を考慮していただきたいと思います。

より多くの市民が集い、災害時には頼りの場所となる福津市中央公民館となりますようお願いし、答申とします。